

第10回山元町被災地ボランティア

「支援の輪」、広がる！ 近大、阪大などから医学生6名が参加！

5/9～10 宮城県山元町被災地支援ボランティアが行われ、兵庫や大阪から医学生6名が参加しました。大阪民医連としては、昨年7月から取り組み、今回でちょうど10回目の支援となりました。

■広がる支援の輪

今回の参加者6名のうち、半分にあたる3名の学生がリピーター参加。3月の支援に初めて参加したY君（近大4年）は、復興が進まない被災地の困難な状況を周りに伝え、今回友人二人とともに支援に参加してくれました。支援の輪が着実に広がっています。

現地では、みやぎ県南医療生協の組合員さんらと共に、仮設住宅や被災地域の集会所での健康チェック（血圧測定や問診など）や健康体操、レクリエーションなどを行いました。仮設住宅の方からは「(医学生の訪問を)毎回楽しみにしている。ぜひまた来て欲しい」との言葉をもらうなど、とても盛況でした。

■参加した学生の感想

・S君 東海大学2年

何度か支援に参加する中で、最初は被災地支援という大それたものに思っていたことが、「人のためになにかしたい」という純粋な感情と衝動に変わった気がした。これから医師を目指すものとして出来ることを考えていきたい。

・K君 近大4年

できたことは少ないが、現地の方々の生の声を聞き、得たものは大きい。大阪に帰って伝えていくことが今出来ることだと思う。また参加したい。